



より良いモノづくりのために 染色・プリントの事故事例



モノづくりにおいて染色やプリントについては様々な手法や工程、注意ポイントなどがあります。
そこで染色やプリントに関する「よくあるトラブル」をシリーズでご紹介します！

《今回のテーマ》 アイロンによる移染



現象

購入後初めて洗濯したら、左右カフス部分に色移りが発生した



原因

洗濯後、湿潤状態でアイロン処理を行ったことにより、
別布に使用された染料が、水分・熱・圧力の影響で本体に汚染した



対策

- ・湿潤状態でのアイロン処理やプレス処理を避ける
- ・ソーピング処理(洗浄)を十分に行い、未固着染料を除去する
- ・予め附属生地染色堅牢度の確認
- ・濃淡配色展開の場合、共生地に対する相性も確認

大変！赤く
色移りして
いるわ！！



別布
(台衿、カフス)：綿

本体：綿



試験 内容

①外観観察をしてみよう



赤い汚染は、カフスの
縫い代が重なって厚みの
ある箇所を中心に
発生しているケン！

台衿とカフス内側には
エンジ色の別布が
使われているわ！



②別布の染色堅ろう度はどうかな？

試験項目		試験結果(級)	
洗濯試験	JIS L 0844 A-2号	変退色	4-5
		汚染(綿/ナイロン)	4-5/4-5
		洗液汚染	4-5
色泣き	大丸法	汚染	4
水試験	JIS L 0846	変退色	4-5
		汚染(綿/ナイロン)	4-5/3
ホットプレス	JIS L 0850 A-2号	乾燥	変退色 5
		汚染	5
		湿潤強	変退色 5
		汚染(綿白布)	4-5

③別布の組成は何か？

【JIS L 1030-1】
綿

④別布の染料部属判定を してみよう

【JIS L 1065】
反応染料と推定される

⑤再現試験をしてみよう！

1)別布と本体生地の組み合わせで試験を実施

試験項目		試験結果(級)	
ホットプレス	JIS L 0850 A-2号準用	湿潤強	変退色 5
		汚染(本体)	4

2) カフスと同じ状態で別布と本体を縫い合わせ、アイロン処理を実施

処理条件		試験結果
処理温度:中温(約150℃) 処理時間:10秒	湿潤状態	事故部に類似した汚染発生

【アイロン処理】



事故部と
似ているケン



解説

当該品の汚染は、アイロンの際のコテ面
側に顕著に認められます。



別布に使用されている反応染料は水溶性
の染料であることから、
湿潤状態で熱が加わるとコテ面と接して
いる側が速く乾燥し、それにより染料が
移動した可能性が考えられます。

上記の内容についてご不明な点等ございましたらお近くのボーケンまでお気軽にお問い合わせください

■ 東京試験センター ☎ 03-5669-1380
〒135-0001 東京都江東区毛1丁目12番1号

■ 大阪試験センター ☎ 06-6577-0200
〒552-0021 大阪市港区築港1丁目6番24号

■ 名古屋試験センター ☎ 052-231-0861
〒460-0008 名古屋市中区栄1丁目25番15号

■ 岡山試験センター ☎ 086-231-2700
〒700-0936 岡山市北区富田422-1